

もし、この時代に、せんそうがおこったら、わたしは、とてもいやです。かぞくのみんながしんでしまったら、わたしは、とってもいやです。なんでかと言うと、かぞくのおもいでや、わたしのおもいでもなくなってしまうので、とてもいやです。わたしの友だちのおもいでもなくなるし、いとこの、おもいでもぜんぶなくなってしまうので、だから、とっても、いやなんです。わたしがうまれて、一回も、せんそうがあったことが、ないので、こわいです。わたしのおかあさんが、「みんなが、せんそうのことをわすれてしまったら、せんそうが、はじまるよ。」と言ってくれたけど、それは、ほんとなつて思うけど、わたしは、ほんとうと思います。もし、いま、せんそうがおこったら、アメリカと、日本のみんなが、せんそうにたたかう

しか、ありません。わたしのまえに、こわいアメリカの人が、たっていたら、とてもこわいです。いつも、わたしたちの、ことを考えてくれるお母さんや、お父さんや、おねえちゃんとはなれたくありません。なので、せんそうは、きれいです。ちきゅうには、せんそうがなければいいのにな。あかるいちきゅうをこわさないでください。それから、わたしたちの、おもいでも、こわさないでください。ばくだんが、わたしたちの、まちにおちてきたら、たいへんです。だからおちてこないでください。わたしの友だちも、しんでしまったら、どうしよう。いまは、このまま、へいわでいてください。せんそうでたたかっても、わたしは、いきのこりたいです。かぞくも、友だちも、いきのこってください。わたしはせんそうのいみをあまりしりませんけど、おかあさんから、たまに、きくのでだんだん、わかってきます。わたしが、うまれて、いつかいいせんそうが、おこったことが、ないけ

ど、ほとんど、いみは、わかります。ほんとうに、せんそうが、ないほうがいいです。おとうさんも、おかあさんのように、

「みんなが、せんそうのことをわすれたら、せんそうが、はじまるよ。」

といて、おとうさんのいっていることも、ほんとうだとしりました。おとうさんに、わたしが、

「それってほんと。」

ときいたら、

「ほんとだよ。」

といてくれたから、そのことを、信じました。ほんとうに、せんそうがなければいいのになく。ばくだんも、なくて、せんそうもなくなるように。おねえちゃんも、おかあさんも、おとうさんも、みーんなみーんな、

「せんそうは、いやだなく。」

とおもっているとおもいます。ほうとうにせんそうが、ないように。